松前の
防災力

総務課危機管理係
☎ 985-4103

訓練に参加しなかった人も学ぼう

災害トイレ設置訓練・煙体験訓練

9月4日、町の総合防災訓練を行いました（訓練の概要は、14ページ参照）。訓練では、さまざまな体験型の訓練を行いましたが、今回は「災害用トイレ設置訓練」と「煙体験訓練」の内容を紹介します。訓練に参加できなかった人もここで学んで、災害が起こった場合には、行動に移せるようにしましょう。

▶災害用トイレ設置訓練

この訓練は、町内の小中学校、高校、松前公園、ホッケー公園に保管している災害用トイレを組み立てる訓練です。組み立て自体は、道具と一緒に入っている説明書を見れば、簡単に組み立てることができます。訓練では、災害時のトイレの大切さについても学びました。

◉阪神大震災・東日本大震災での教訓

阪神大震災では、2時間ほどで避難所の便器が汚物でいっぱいになり、トイレは足の踏み場もないほど汚れていたと言います。さらに、震災関連死として約900人が認定されましたが、約3割が心筋梗塞や脳梗塞で亡くなっています。ストレスの蓄積もありますが、トイレが汚い、使いにくいといった理由で水や食事を控えたことで血液の流れが悪くなり、心臓に負担をかけたことが原因の一つと考えられています。

東日本大震災でも、数カ月にわたり災害用トイレを使用しました。避難所生活が長くなるほど、安心して使用できるトイレが必要です。

▶煙体験訓練

この訓練では、火災などで煙がまん延した室内を想定し、素早く安全に避難するために必要なことを学びました。

参加者は、実際に煙の中を移動。「全然前が見えなかった」「周りに何があるのか分からなくて、前に進むのが怖かった」という声が多く寄せられました。煙は、元気な人が階段を上る速さの6～10倍で上昇します。火災の煙には、不完全燃焼で発生する一酸化炭素が含まれており、多量に吸い込むと一瞬で酸欠状態となり、呼吸ができなくなって死に至るケースも少なくありません。

煙の中を進むときに大切なことを、下に記載しています。適切な避難ができるよう見直しましょう。

- □ 消火が難しいと判断したら**早く**、煙から逃れるように**低い姿勢**で、**下に向かって**逃げる。
- □ 水にぬらした**タオルやハンカチで鼻と口を覆って**逃げる。
- □ 煙で前が見えない場合は、**壁に手を当てて**慌てず落ち着いて逃げる。
- □ 可能な範囲で、防炎のためドアを閉め、機器類のスイッチとブレーカーを切って逃げる。